

## 木 竹 伐 採 概 要 書

「森林地内の伐採	1. 林 相	(イ) 針 葉 樹 林 (ロ) 広 葉 樹 林 (ハ) 針 広 混 交 樹 林 (占領面積比 針：広) (ニ) 竹 林			5. 伐採区域面積	m <sup>2</sup>	摘 要
					6. 伐 採 量	m <sup>3</sup>	
					7. 伐 採 方 法	(イ) 皆 伐 (ロ) 択伐 (択伐率 %)	
					8. 伐採主要樹種		
					9. 伐採跡地の 処 理 方 法		
	2. 林 齢 また は 林 齢 範 囲						
	3. 疎 密 度						
	4. 隣接地の現況						
「森林地外の伐採	II-1 集 団 を な す 立 木 竹 の 場 合	1. 隣接地の現況			2. 伐採区域面積	m <sup>2</sup>	摘 要
					3. 伐 採 方 法	(イ) 皆 伐 (ロ) 択 伐 (択伐率 %)	
					4. 伐 採 量	m <sup>3</sup>	
					5. 伐採主要樹種		
					6. 伐採跡地の 処 理 方 法		
独立木の 合	II-2	1. 樹 種 名	2. 樹 齢	3. 樹 高	4. 目通幹まわり	5. 数 量	摘 要
			約 年	m	m	本	
III 建 築 敷 地 内 採	1. 樹 種 名	2. 樹 齢	3. 樹 高	4. 目通幹まわり	5. 数 量	摘 要	
							<b>ケヤキ</b>

おおよそで構いません

本数が多い場合は別紙に書いても可

**備 考**

1. I-1については該当する番号に○印をつけること。なお該当行為が2つ以上にわたる場合はそれぞれに○印をつけること。
2. II-1-3については該当符号に○印をつけること。また(ロ)に該当する場合は択伐率をカッコ内に記入すること。
3. I-3の「疎密度」は樹冠投影面積の10分比をもって表わすこと。
4. I-4、II・II-1・1の「隣接地の現況」欄には、土地の状況、立木竹、建築物、その他の工作物の有無とその種類等を記載すること。
5. I-7-(ロ)、II・II-1・3-(ロ)の「択伐率」は伐採区域における総材積に対する択伐量をいう。
6. I-9、II・II-1・6の「伐採跡地の処理方法」欄には、植栽、放置等を記入すること。
7. II・II-2・4、III-4の「目通幹まわり」とは、1.5mの地上高の幹周長で、双幹以上のものは、各幹まわりの合計の70%を採り、1.5mのところは枝の分れ目のときはすぐ上部の寸法を採用すること。